

第81期 中間株主通信

2024年4月1日 ▶▶▶ 2024年9月30日



能美防災株式会社

株主の皆様へ



能美防災株式会社

代表取締役社長 **岡村 武士**

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境などが改善する中、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当防災業界におきましても、企業収益や業況感が改善する中で設備投資は緩やかな増加傾向にあることから市場環境は堅調に推移いたしました。原材料等のコストの上昇や2024年4月から建設業にも適用が開始された時間外労働の上限規制の影響などに注視が必要な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028 ～期待の先をカタチに～」として策定しており、各種の取り組みを2022年度から始め、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦しております。

この中長期ビジョンの3年目として積極的な営業活動に努めた結果、当中間連結会計期間における受注高は80,264百万円（前年同期比17.3%増）、売上高は54,538百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

利益につきましては、市場環境が堅調に推移したことに加え、原材料価格等が上昇する中で計画的に取り組んだ価格改定が奏功したことなどから売上原価率が改善し、営業利益は3,600百万円（前年同期比140.4%増）、経常利益は3,794百万円（前年同期比115.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,539百万円（前年同期比112.8%増）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は19,610百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は2,909百万円（前年同期比63.1%増）、消火設備につきましては、売上高は18,625百万円（前

年同期比14.1%増)、営業利益は2,485百万円(前年同期比73.4%増)、保守点検等につきましては、売上高は13,822百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は2,311百万円(前年同期比8.4%増)、その他につきましては、売上高は2,479百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は122百万円(前年同期比68.9%増)となりました。

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、有価証券4,000百万円の増加、原材料及び貯蔵品900百万円の増加等があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産11,442百万円の減少、現金及び預金3,204百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ8,872百万円減少し、148,612百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金1,612百万円の減少、未払法人税等859百万円の減少、支払手形及び買掛金740百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,997百万円減少し、26,321百万円となりました。

純資産につきましては、自己株式の取得を主因として、前連結会計年度末に比べ2,875百万円減少し、122,291百万円となりました。

以上のような状況ではありますが、当中間配当金といたしましては1株につき30円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

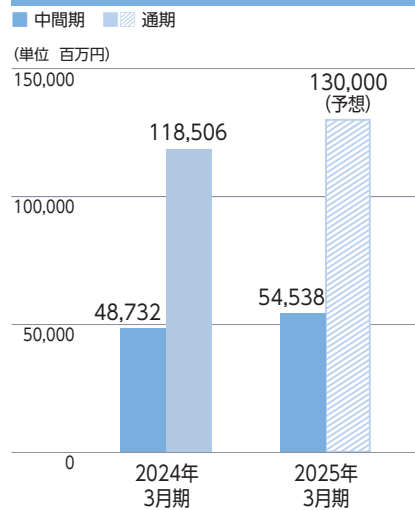
2024年12月

目次

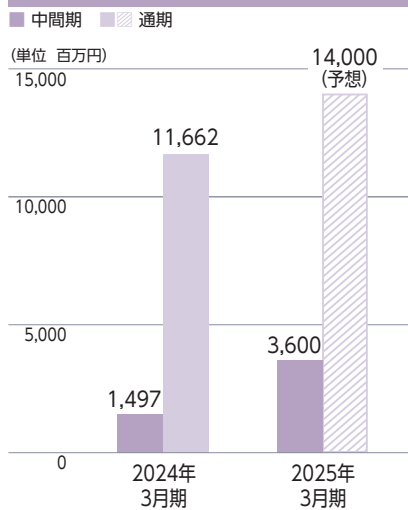
株主の皆様へ	P1
連結財務ハイライト	P3
連結財務諸表	P4
セグメント別の概況	P5
TOPICS	P7
会社の概況	P9
株式の状況	P10
株主メモ	裏表紙

連結財務ハイライト

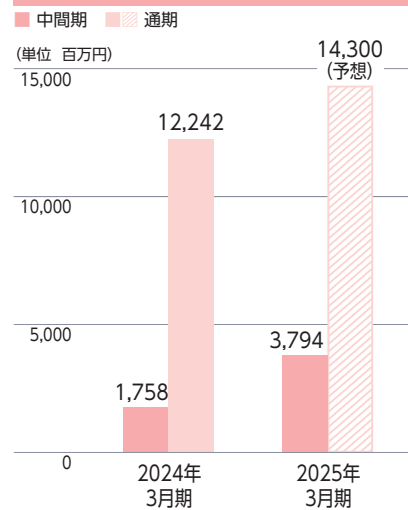
売上高



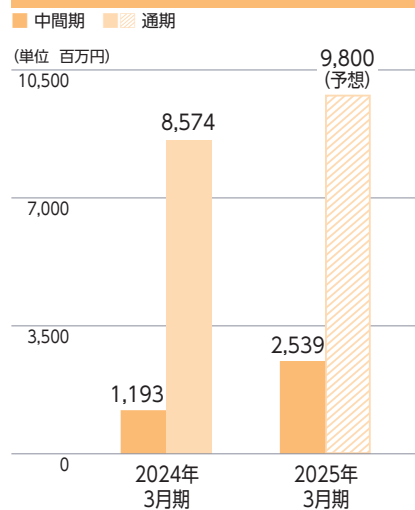
営業利益



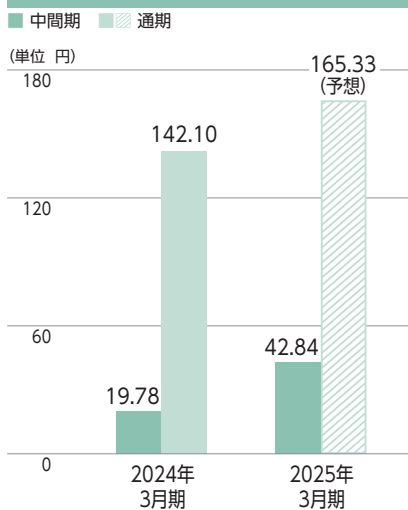
経常利益



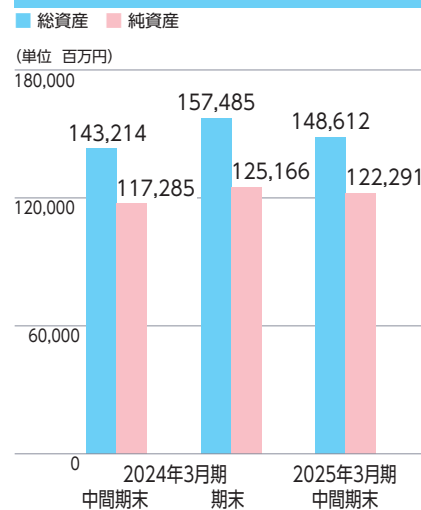
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



1株当たり中間(当期)純利益



総資産・純資産



連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	前連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産	102,037	111,318
固定資産	46,574	46,167
(有形固定資産)	23,599	23,868
(無形固定資産)	3,496	3,382
(投資その他の資産)	19,478	18,917
資産合計	148,612	157,485
負債の部		
流動負債	18,832	24,826
固定負債	7,488	7,492
負債合計	26,321	32,318
純資産の部		
株主資本	116,818	119,784
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,925	12,945
利益剰余金	94,522	93,796
自己株式	△ 3,931	△ 259
その他の包括利益累計額	3,835	3,854
非支配株主持分	1,637	1,527
純資産合計	122,291	125,166
負債純資産合計	148,612	157,485

中間連結損益計算書 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	54,538	48,732
売上原価	37,102	34,432
売上総利益	17,436	14,300
販売費及び一般管理費	13,836	12,803
営業利益	3,600	1,497
営業外収益	257	302
営業外費用	63	42
経常利益	3,794	1,758
特別損失	1	5
税金等調整前中間純利益	3,792	1,752
法人税等	1,272	603
中間純利益	2,520	1,149
非支配株主に帰属する中間純損失	△ 19	△ 44
親会社株主に帰属する中間純利益	2,539	1,193

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,492	2,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,145	△ 1,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,611	△ 1,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	94
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,125	33
現金及び現金同等物の期首残高	45,550	47,684
現金及び現金同等物の中間期末残高	42,424	47,718

セグメント別の概況

火災報知設備

売上高構成比

36.0%

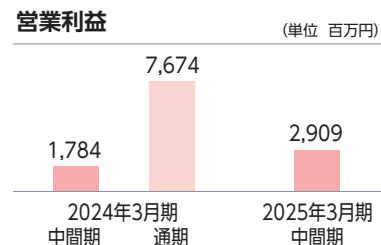
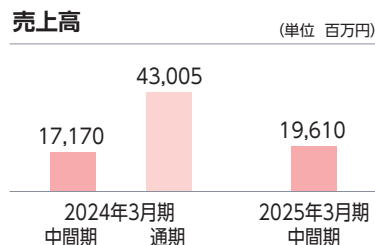


火災報知設備、防火・防排煙設備、ガスもれ警報設備、非常用放送設備、避難誘導設備、住宅防災システム、環境監視システム

売上高 前年同期比
19,610百万円 14.2%増

営業利益 前年同期比
2,909百万円 63.1%増

- 市場が堅調に推移し、原材料価格などの上昇に対して計画的に価格改定に取り組んだことなどから、増収増益となりました。受注高、受注残高、売上高のいずれも中間期として過去最高となりました。



消火設備

売上高構成比

34.2%

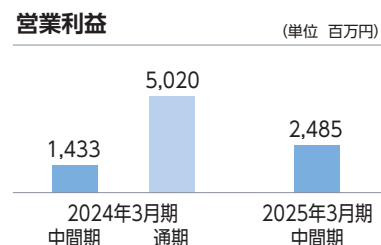
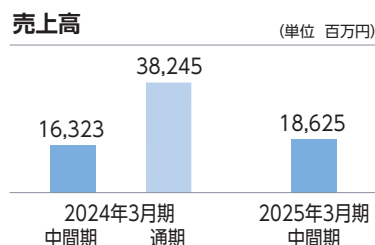


スプリンクラーなど消火設備、文化財防災システム、プラント防災システム、トンネル防災システム

売上高 前年同期比
18,625百万円 14.1%増

営業利益 前年同期比
2,485百万円 73.4%増

- 防災に対する需要が高まる中、国内の設備投資が増加傾向にあることからプラントなどの特殊物件を中心に増収増益となり、受注高、受注残高、売上高はいずれも中間期として過去最高の水準となりました。



保守点検等

売上高構成比

25.3%



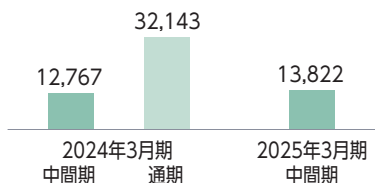
各種防災機器に係る保守点検・補修業務

売上高 前年同期比
13,822百万円 8.3%増

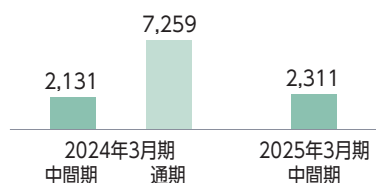
営業利益 前年同期比
2,311百万円 8.4%増

- 保守点検の受注は堅調に拡大してきており、設備のリニューアルに対する需要も高く、増収増益となりました。受注高、受注残高、売上高のいずれも中間期としては2期連続で過去最高を更新しました。

売上高 (単位 百万円)



営業利益 (単位 百万円)



その他

売上高構成比

4.5%



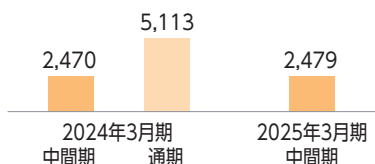
駐車場車路管制システム等

売上高 前年同期比
2,479百万円 0.4%増

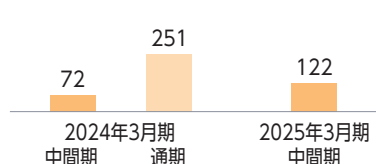
営業利益 前年同期比
122百万円 68.9%増

- 駐車場関連が堅調に推移し、セグメント全体の売上高は前年同期と同等の水準となりました。厳しい環境の中で原価率の改善に取り組んだ結果、営業利益は増益となりました。

売上高 (単位 百万円)



営業利益 (単位 百万円)



「万平ホテル」へ防災システムを納入

1894(明治27)年に創業し、避暑地軽井沢とともに一世紀を超える歴史を歩み続ける「万平ホテル」が、創業130周年記念事業の大規模改修・改築を経て、2024年10月2日にリニューアルオープンしました。

「万平ホテル」は戦前・戦後を通じ、現在に至るまで数多くの著名人や政界人などに愛されてきたクラシックホテルです。この度リニューアルされた建物のひとつである「アルプス館」は、1936(昭和11)年に建てられました。軽井沢の景観に調和したハーフ・ティンバー風の外観意匠や、和洋折衷の室内意匠といった特徴を持ち、2018(平成30)年には国の登録有形文化財に登録されています。

当社は、この「万平ホテル」に防災システムを納入し、皆様に安全、安心をお届けしています。



防災兼用型ソーラーカーポート・屋上ソーラーパネルの導入

当社メヌマ工場(埼玉県熊谷市)では、脱炭素への取り組みの一環として工場屋上にソーラーパネルを設置しました。併せて地上駐車場には日常的な発電やEV充電だけでなく、非常時にマンホールトイレやEV・防災盤から災害用トランスを経由してコンセントの利用ができるなど「フェーズフリー」な設備として、防災兼用型ソーラーカーポートを設置しております。

また、熊谷市とは「災害時における支援協力に関する協定書」を取り交わしており、災害時の地域貢献も視野に入れております。

当社はサステナビリティ経営を推進しており、今後も自然環境や社会システムを維持すべく、サステナブルな社会を創ることに挑戦していきます。



上空から見た設置イメージ (上)
ソーラーカーポートの設置イメージ (下)

会社の概況 (2024年9月30日現在)

会社の概況

商号	能美防災株式会社 NOHMI BOSAI LTD.
設立	1944年5月5日
資本金	13,302,282,161円
従業員数	2,766名(連結) (2024年3月31日現在)

主要な事業所

本社 東京都千代田区九段南4丁目7番3号

北海道支社(札幌市)	中部支社(名古屋市)
東北支社(仙台市)	北陸支社(金沢市)
新潟支社	関西支社(吹田市)
茨城支社(水戸市)	京都支社
北関東支社(さいたま市)	中国支社(広島市)
西関東支社(八王子市)	岡山支社
丸の内支社(千代田区)	九州支社(福岡市)
千葉支社	三鷹工場
横浜支社	メヌマ工場(熊谷市)
長野支社	研究開発センター(三郷市、熊谷市)
静岡支社	

子会社 日信防災株式会社(東京都千代田区)
能美エンジニアリング株式会社(東京都江東区)
上海能美西科姆消防設備有限公司(中国上海市)

役員体制

1. 取締役

代表取締役会長 橋爪 毅	取締役 藤井 裕之 <small>取締役等委員</small>
代表取締役社長 岡村 武士	社外取締役 長濱 晶子 <small>監査等委員</small>
取締役 長谷川 雅弘	社外取締役 福田 真人 <small>監査等委員</small>
取締役 千田 岳彦	社外取締役 安部 道雄 <small>監査等委員</small>
社外取締役 塩谷 慎	
社外取締役 平野 啓子	
社外取締役 鷺見 哲也	

2. 執行役員

専務執行役員 長谷川 雅弘	執行役員 踊 恵支
常務執行役員 有賀 靖夫	執行役員 加藤 良一
常務執行役員 原 祐二	執行役員 中村 雅之
執行役員 三浦 寿人	執行役員 小野 泰弘
執行役員 池田 信也	執行役員 内匠 一樹
執行役員 山本 一人	執行役員 嶋宮 浩栄
執行役員 上吹越 慎	執行役員 山岸 貴俊

主要な事業内容

- 防災に関する受託実験・企画・提案
- 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守
- 上記機器の設計、製造、販売
- 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売、保守

株式の状況 (2024年9月30日現在)

株式の状況

株式数 発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 60,832,771株

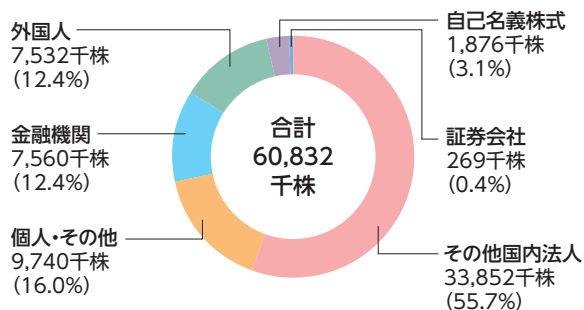
株主数 3,740名 (前期末比 60名減)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
セコム株式会社	30,598	51.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,515	6.0
能美防災代理店持株会	2,276	3.9
能美防災取引先持株会	1,520	2.6
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,228	2.1
能美防災従業員持株会	974	1.7
JP MORGAN CHASE BANK 385632	874	1.5
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	870	1.5
株式会社三井住友銀行	765	1.3
能美防災安衛協持株会	697	1.2

(注) 持株比率は自己株式 (1,876,728株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布



ホームページのご案内

当社ホームページでは、決算に関する資料など様々な情報を掲載しております。
ぜひ一度ご覧ください。

URL <https://www.nohmi.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 URL https://www.nohmi.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する各種手続きについてのお問い合わせ】
お取引の証券会社にお問い合わせください。

ただし、未払配当金の支払請求および証券会社をご利用でない株主様のお手続きにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行に口座(特別口座といえます。)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、左記の電話照会先までご連絡ください。

【単元未満株式の買取・買増制度について】

単元未満株式(1~99株)については、市場での売却ができませんが、当社に対して買取請求または買増請求を行うことができます。いずれも手数料は無料となっております。

これらの請求を行う際はお取引の証券会社に、証券会社をご利用でない株主様は株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

能美防災株式会社

〒102-8277

東京都千代田区九段南4丁目7番3号

電話 (03) 3265-0211 (代表)

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

